

会 議 録

会 議 名	佐久市天体観測施設運営委員会
日 時	6月10日(木) 午後2時～3時20分
場 所	佐久市天体観測施設 研修室1
出 席 者	委員4名
	事務局4名(文化振興課長、文化振興課職員3名)

【会 議 内 容】

1 開 会

2 あいさつ 会長及び文化振興課長

3 会議事項

(1) 令和2年度事業報告について

別添報告書のとおり事務局より説明。

(2) 令和3年度事業計画(案)について

別添事業計画事務局より説明し、計画(案)は承認。以下質疑応答。

質疑応答

委員：高等学校の利用もあるようだが、県内の高等学校に天文部は必ずしも多くないし、指導ができる顧問が必ずいるわけでもない。その中でも、生徒たちは興味を持って、何とか活動しようとしているところはあるので、スタードームでそういう子ども達を応援する活動を続けてほしい。

事務局：天体観測する時間が夜の遅い時間となることから、難しいと考えておりますが、今後事業計画を検討する中で参考とさせていただきますと思います。

委員：券の前売りを検討できないか。例えば、ペアチケットを用意すると、贈り物として活用する場面も考えられる。割引などもあるとなお良い。事業費や効果のほどについて、知見を持ち合わせてはいないが、利用者の拡大、リピーターの増加につながる試みとしてできないだろうか。

委員：佐久市全体の施設でクーポンのようなものができると良いのでは。温泉などでは既にやっている例があると思う。

事務局：面白いアイデアを頂いたと思いますが、割引に関しては、料金は条例で決まって

いるので即答できかねるが、半券が残る前売券は一つのご意見として、条例等を踏まえながら、今後の参考とさせていただきます。

委員：要望として、駐車場の白線が消えかかっているのので、できたら引き直してもらいたい。線がみえないと、最初の1台が駐車した向きによって、出入りにくくなることがある。

事務局：予算の都合で、今年度実施することは難しいと考えております。来年度以降、予算措置できるかお約束はできませんが、施設の緊急性なども踏まえながら、利用者に配慮していきたいと考えております。

委員：臼田文化センターにある郷土史に、明治6年に発行された小学校の読本で、何と日食の説明も書かれている。学制発布から間ない時期に、このような資料を作成し、長野県内で5000部が刷られたそうで、そういう歴史や長野県の教育熱などもひっくるめた総合的な学習というものが展開できると面白いのではないか。

事務局：たいへん難しい課題だと思いますが、頂きましたご意見を参考といたしまして学校教育などにも活用していけたらと考えております。

委員：臼田地区の小学校の利用はどの程度あるか。

事務局：臼田に限定せず、佐久市内の小学校の利用ということだと毎年1件くらいはあります。あとは、PTAの親子レクなどで利用もあります。いずれにしても交通手段が課題になっている状況です。

委員：観望会の案内等は学校に配布しているか。

事務局：独自での配布はなく、市の広報紙への掲載やFMさくいだいらへ出演イベントなどについて情報提供しております。また、天文カレンダーを毎年制作しお持ちして、市内の全学校に配布しながらスタードームをPRしております。

委員：南極へ行った先輩とオンラインでやりとりをしたという例が地元にもあるが、新型コロナウイルスで現地へ出かけられない高校の天文部などに、オンラインで講義ができたりすると、インパクトがあると思う。対面でなくともできることをやる、または依頼があったら応じることを検討いただきたい。

事務局：職員が講師をすることは良いと思います。あとは、通信環境がそれに対応できるかという問題があります。全国の公開天文台を見渡すと、インフラが整っていて実力もあるところは、既にオンライン展開も始めおります。これからは、そういう能力も養っていかなければいけないというのは感じております。それは、天文台だけでなく文化施設全般がそうだが、関連して、この頃は電視観望に注目して

いて、新しい観望スタイルの芽が至る所では始めているように思います。
そういう時代にどう対応してゆくかも、Wi-Fiなども踏まえ考えていかないと思っ
ております。